NY マーケットレポート（2017 年 10 月 27 日）

NY 市場では、序盤に発表された米 7-9 月期 GDP が市場予想を上回る結果となり、2 期連続で 3%台を維持したことが好感され、ドル買いが優勢となり、ドル/円は 114.44 まで上昇し、7 月 11 日以来の高値を付ける動きとなった。ただ、その後ミシガン大消費者信頼感指数が速報値から下方修正されたことや、トランプ米大統領が次期 FRB 議長にややハト派的な候補者の指名に傾くとの関係者の発言が報道されたことも加わり、ドル売りが加速した。一方、カタルーニャ議会が独立宣言を可決したことを受けて、カタルーニャ情勢への懸念が広がり、ユーロは主要通通貨に対して下落した。特に、対ドルでは 7 月 20 日以来の安値を付ける動きとなった。

2017年 10月27日（金）

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	114.11	114.32	113.97
EUR/JPY	132.75	132.95	132.60
GBP/JPY	149.38	150.05	149.37
AUD/JPY	87.19	87.46	87.06
EUR/USD	1.1634	1.1658	1.1616

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	22008.45	+268.67
ハンセン指数	28438.85	+236.47
上海総合	3416.81	+9.25
豪ASX200	5903.16	−13.14
インドSENSEX	33157.22	+10.09

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7505.03	+18.53
仏CAC40	5494.13	+38.73
独DAX	13217.54	+84.26

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	23434.19	+33.33
S&P500	2581.07	+20.67
NASDAQ	6701.26	+144.49

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.67	114.44	113.66
EUR/JPY	131.90	132.69	131.76
GBP/JPY	149.29	149.70	148.95
AUD/JPY	87.27	87.34	87.07
EUR/USD	1.1604	1.1624	1.1574

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	15953.51	+61.88
ボルサ指数	49209.58	+222.74
ボベスパ指数	75975.69	+79.34

＊一部暫定値

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1271.80	+2.20
NY 原油	53.90	+1.26

米国債利回り	本　日	前　日
2年債	1.59%	1.62%
3年債	1.72%	1.75%
5年債	2.04%	2.08%
7年債	2.26%	2.30%
10年債	2.42%	2.46%
30年債	2.93%	2.97%

ドイツ10年債	0.38%	0.42%
英国 10年債	1.35%	1.38%

10/30 経済指標スケジュール

08:50 【日本】9月小売売上高
08:50 【日本】9月百貨店・スーパー販売額
08:50 【日本】9月小売業販売額
15:00 【南アフリカ】9月民間部門信用
15:00 【南アフリカ】9月マネーサプライM3
16:00 【ノルウェー】9月小売売上高
16:00 【トルコ】10月経済信頼感
16:00 【ドイツ】9月小売売上高
17:00 【スイス】10月KOF先行指数
18:30 【英国】9月マネーサプライM4
18:30 【英国】9月住宅ローン承認件数
18:30 【英国】9月消費者信用残高
18:30 【英国】9月住宅証券融資高
19:00 【欧州】10月消費者信頼感・10月経済信頼感
19:00 【欧州】10月鉱工業信頼感・10月サービス業信頼感
19:00 【欧州】10月業況判断指数
21:00 【南アフリカ】9月財政収支
21:30 【米国】9月個人所得
21:30 【米国】9月個人支出
21:30 【米国】9月PCEデフレーター
22:00 【ドイツ】10月消費者物価指数
23:30 【米国】10月ダラス連銀製造業活動指数

10/30 主要会議・講演・その他予定

・日銀金融政策決定会合（～31日）

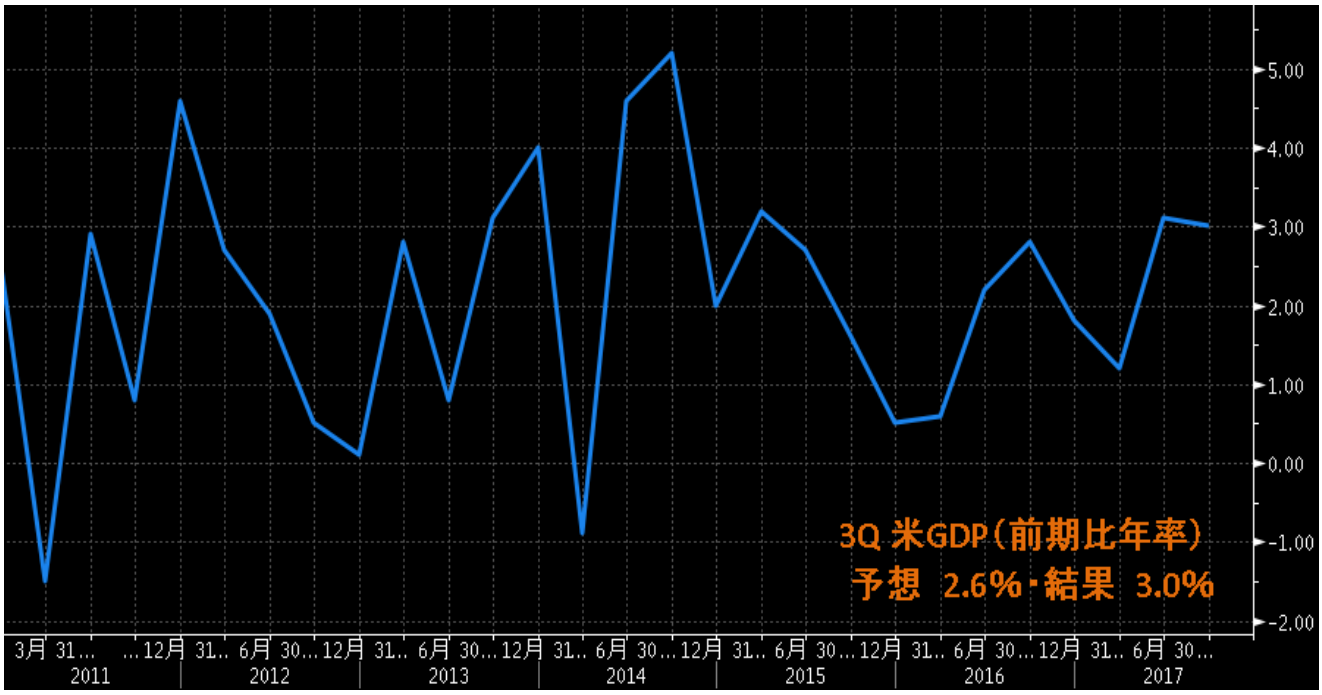
出所：SBILM

NY 市場レポート

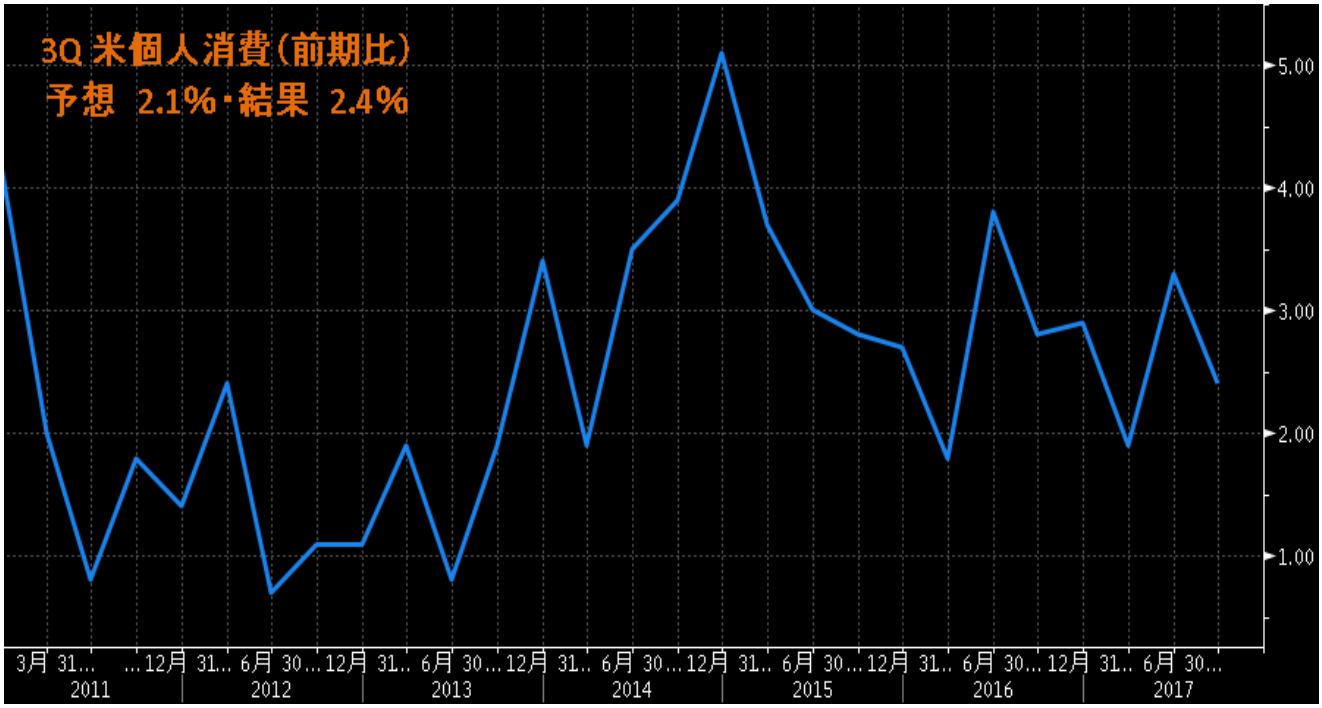
21：30
≪ 経済指標の結果 ≫

3Q 米 GDP（前期比年率） 3.0%（予想 2.6%・前回 3.1%）

3Q 米個人消費（前期比） 2.4%（予想 2.1%・前回 3.3%）



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

≪米 GDP≫

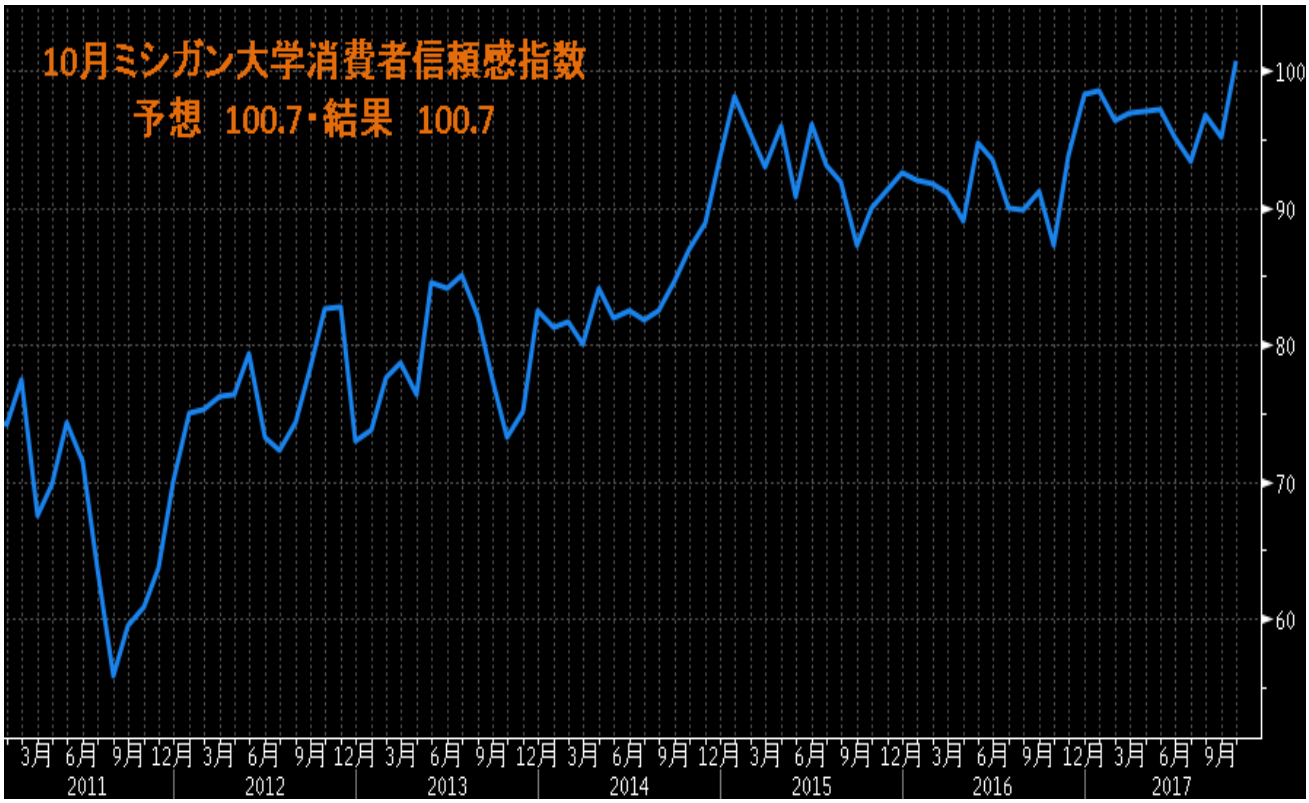
	3Q 速報	2Q	1Q	4Q	3Q
ＧＤＰ	3.0	3.1	1.2	1.8	2.8
個人消費	2.4	3.3	1.9	2.9	2.8
耐久消費財	8.3	7.6	-0.1	9.2	9.4
非耐久消費財	2.1	4.2	1.1	2.5	0.1
サービス	1.5	2.3	2.5	2.1	2.7
設備投資	3.9	6.7	7.2	0.2	3.4
住宅投資	-6.0	-7.3	11.1	7.1	-4.5
輸出	2.3	3.5	7.3	-3.8	6.4
輸入	-0.8	1.5	4.3	8.1	2.7
政府支出	-0.1	-0.2	-0.6	0.2	0.5
最終需要	2.3	2.9	2.7	0.7	2.6
国内最終需要	1.8	2.7	2.4	2.3	2.2

7-9 月期の米 GDP 速報値は、前期比年率+3.0%となり、2 期連続で 3%台を達成した。GDP の約 7 割を占める個人消費が+2.4%と伸びたことが影響した。個人消費は、耐久財が+8.3%、非耐久財が+2.1%。自動車販売は 2 期連続のプラスとなったが、住宅投資は 2 期連続でマイナスとなった。また、企業の設備投資は+3.9%、政府部門は-0.1%となった。輸出は+2.3%、輸入は-0.8%となり、経済成長への外需寄与度は引き続きプラスとなった。個人消費支出（PCE）物価指数は、前年比+1.5%となり、FRB が目標とする 2%に届かなかったが、堅調な雇用情勢と力強い経済成長で年内追加利上げ期待も高まっている。

出所：Net Dania

23：00
≪ 経済指標の結果 ≫

10 月ミシガン大学消費者信頼感指数　100.7（予想　100.7・前回　101.1）



出所：Bloomberg

経済指標データ
≪ミシガン大学消費者信頼感指数≫

	10 月確報	10 月速報	9 月	8 月	7 月	6 月
消費者信頼感	100.7	101.1	95.1	96.8	93.4	95.1
景気現況指数	116.5	116.4	111.7	110.9	113.4	112.5
消費者期待指数	90.5	91.3	84.4	87.7	80.5	83.9
1 年インフレ	2.4	2.3	2.7	2.6	2.6	2.6
5 年インフレ	2.5	2.4	2.5	2.5	2.6	2.5

10 月の米ミシガン大学消費者信頼感指数の確報値は、速報値から 0.4 ポイント低下の 100.7 となり、市場予想をやや下回った。前月比では 5.6 ポイント上昇し､2000 年 1 月以来 13 年 9 ヵ月ぶりの高水準となった｡現在の景況感は 116.5 と 10 月速報値から 0.1 ポイント、前月から 4.8 ポイント上昇した。先行景況感は 90.5 と 10 月速報値から 0.8 ポイント低下、前月から 6.1 ポイント上昇した。1 年後のインフレ期待は 2.4%で 10 月速報値から 0.1 ポイント上昇、前月から 0.3 ポイント低下した。

23：05
トランプ米大統領、次期 FRB 議長にパウエル氏指名に傾く ～ 関係者

出所：Net Dania

1：25
トランプ米大統領、来週に次期 FRB 議長を指名へ ～ 報道官

≪欧州株式市場≫

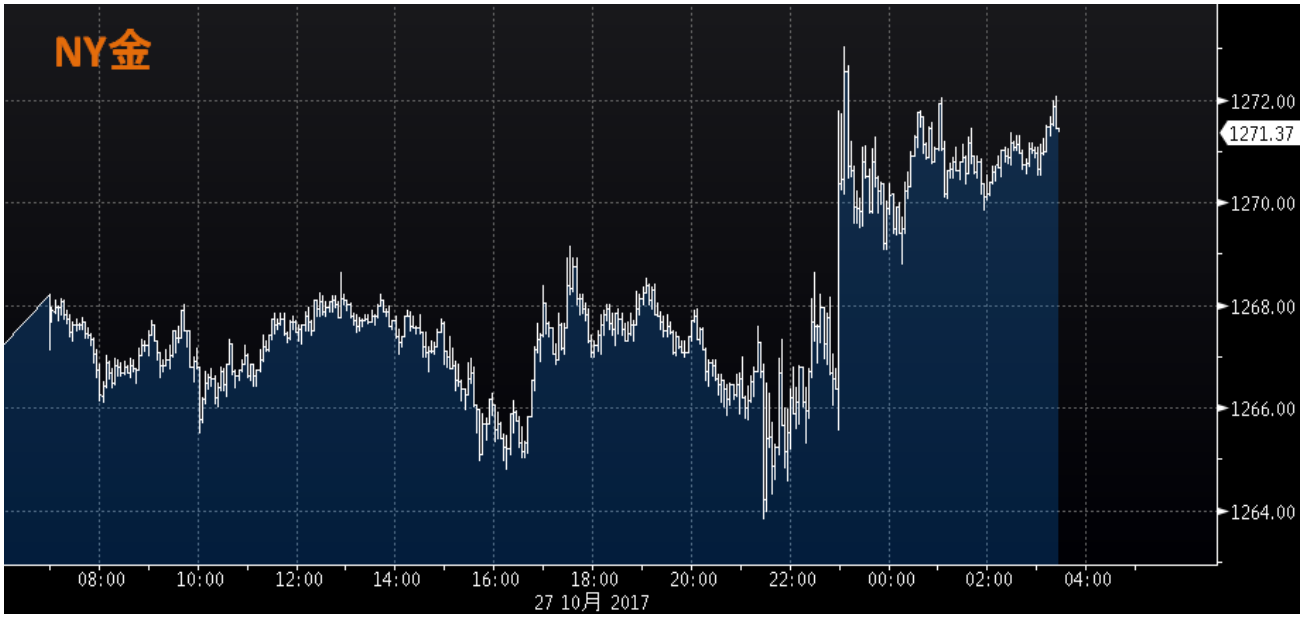
欧州株式市場は、ECB が緩和的な金融政策を続けるとの見方や、企業の業績拡大期待を背景に、主要株価は堅調な動きとなった。独 DAX は、2 営業日連続で最高値を更新して引けた。

出所：Bloomberg

≪ NY 金市場 ≫

NY 金は、中心限月が前日比 2.20 ドル高の 1 オンス＝1271.80 ドルで取引を終了した。

ＮＹ金は、スペイン北東部カタルーニャ自治州の独立問題を巡る混乱から投資家のリスク回避志向が広がり、比較的安全な資産とされる金の買いが優勢となった。トランプ米大統領が、次期 FRB 議長にパウエル FRB 理事を指名する方向に傾いているとの報道をきっかけにドルが円などに対して下落し、ドルの代替資産としての需要も高まった。



出所：Bloomberg

≪ NY 原油市場 ≫

NY 原油は、中心限月が前日比 1.26 ドル高の 1 バレル＝53.90 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC 加盟国と非加盟国が原油の協調減産を来年末まで延長するとの観測から需給の改善期待が高まり、買いが加速した。終値ベースでは、2 月下旬以来約 8 ヵ月ぶりの高値となった。

出所：Bloomberg

≪米株式市場≫

米株式市場は、7-9 月期決算の内容が市場予想を下回った医薬品大手や石油大手の株価が大幅安となったことが影響し、ダウ平均株価は序盤からやや軟調な動きとなった。ただ、ハイテク大手の決算が良好だったことが下支え要因となり、その後は堅調な動きとなった。一方、ハイテク株中心のナスダックは、前日比 2.5%以上の上昇となった。

出所：Bloomberg

≪外国為替市場≫

外国為替市場は、序盤に発表された米 GDP が市場予想を上回る結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して上昇した。ただ、トランプ大統領がハト派的な FRB 議長候補を指名するとの報道を受けて、ドル売りが優勢となった。一方、カタルーニャ議会が独立宣言を可決したことから、カタルーニャ情勢への懸念が広がり、ユーロは主要通貨に対して下落した。

出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。 また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。
本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。